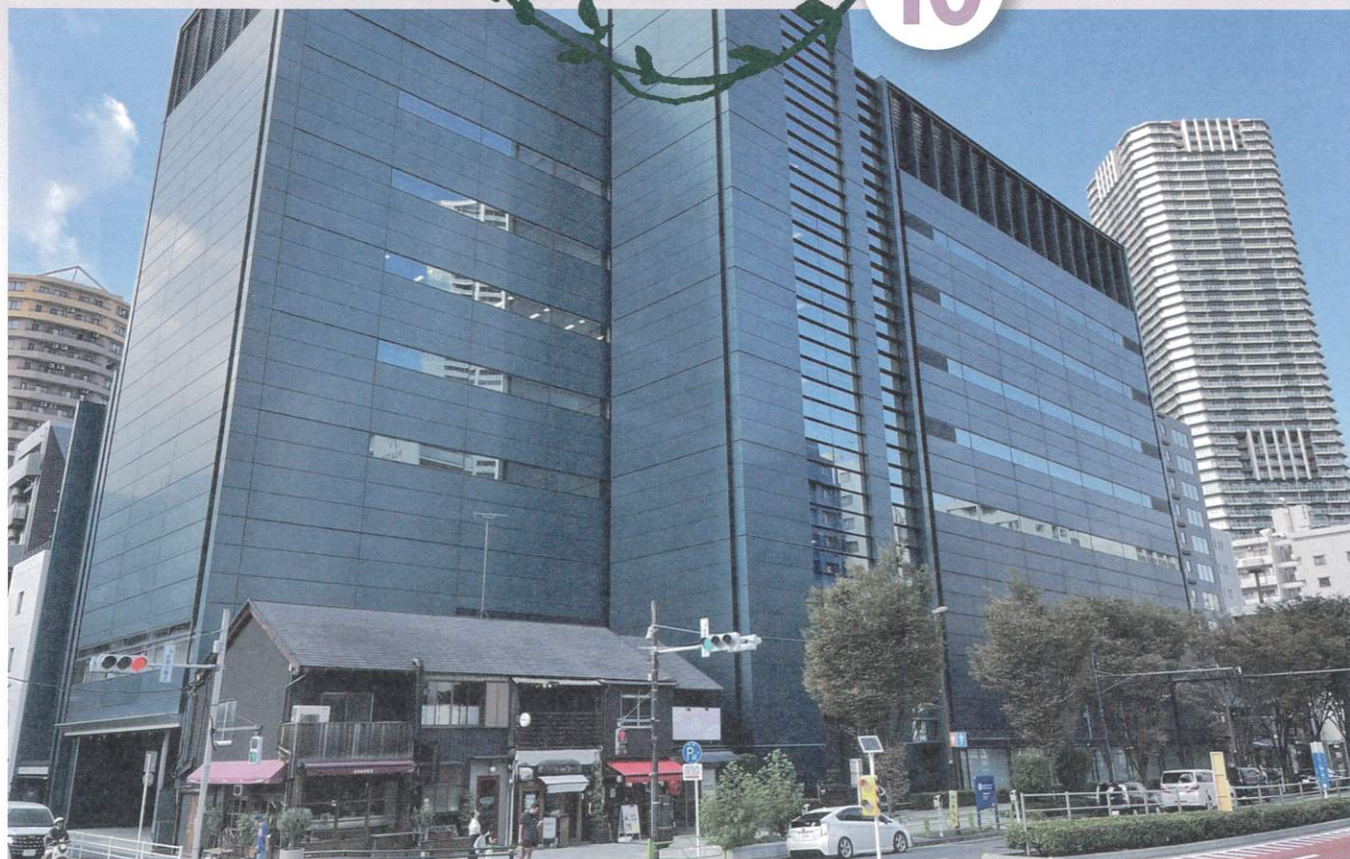


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



令和7年
10月号

大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



とあるビルと長屋(中央区勝どき)

西徳寺の予定

10月

- 5日(日) 午後2時半 **城西ブロック会間法会**
場所:西徳寺
- 8日(水) 午後1時半 **婦人会間法会**
- 11日(土) 午後5時半 **同行会「和讃」に学ぶ**
法話:大橋 伊知郎
- 12日(日) 午後2時半 **城南ブロック会間法会**
場所:三茶しゃれなあど
- 22日(水) 午前10時 **仏具磨き**
- 25日(土) 午後2時 **定例間法会**
- 26日(日) 午後2時半 **城東ブロック会間法会**
場所:松戸市民会館

※予定は変更することがあります。詳しくは寺務所までお問合せください。

11月

- 1日(土)・2日(日) **西徳寺報恩講**
布教使:竹林栄哲師
- 8日(土) 午後3時 **燈虹塾記念公演**
- 12日(水) 正午 **婦人会食事会**
- 15日(土) 午後2時 **定例間法会**
- 16日(日) 午後2時半 **城北ブロック会間法会**
場所:西日暮里「一合」
- 21日(金)～28日(金) **本山御正忌報恩講**
- 29日(土) 午後5時半 **同行会「和讃」に学ぶ**
法話:山崎住職



10月の山門の言葉

すべての子どもは芸術家だ。
問題は、大人になっても芸術家でいられるかだ
パブロ・ピカソ

自坊で、子どもを十人くらい連れた家族の法事を祖父と勤めた。泣きわめく子、走り回る子、叫ぶ子、おもちゃを投げて遊ぶ子。始まる前から、不安で仕方なかった。法事が始まると静かになると思っていたが、それどころか、私や祖父の顔をのぞき込んだり、数珠を触ったりと邪魔ばかりされ、私は非常にイライラした。

法事の後、祖父は法話で、「賑やかでよかった。親御さん、この子たちを絶対怒ってはだめだ」と言った。自分の分まで子どもたちに叱ってくれると思っていた私は、正直呆れた。祖父は「今日、この子たちが身に沁みて感じたお線香の匂い、お経の声は、今しか味わえないもの。その感覚は、この先、彼らの中で残り続けていく」と続けた。それを聞いて、幼少期を思い出した。父が勤めていたお寺で、一日の大半を過ごしていた私は、この子どもたちと同様に、朝昼の仏事でずっと座っていたら、騒いで怒られていたことがあった。今思うとあの時期、怒られる中で無意識に耳に入っていた正信偈は、今も私の中に残っている。

画家のピカソは、子どもが持つ純粋に感じる力、表現する力を、作品においてひらめきの源としていた。それが、日々変動する世の中で、型にはまった常識に縛られ、大人は子どもが持つ純粋さを忘れてしまうことを指摘している。しかし、忘れただけで、子どもの時の純粋な感性というものは、いつまでも身に受け継がれているように思う。

受け継ぐという意味で使われる「相続」とは、もともと仏教の言葉である。この世のあらゆるものは、すがた形を変えながらも、絶えず存在し続けることをいう。仏事において、「死」と向き合う中で、故人のおもいや意志は、親や子に受け継ぐ形で存在し続けることを教えられる。自分の内にあるはずの純粋な感性をいつの間にか忘れていることを、自坊の法事を通して気づかされた。

(大谷 隆 記)

顧問のカレンダーに聞く

ちり
塵が塵のままに

照らされて

ひかり輝く

Dust, when it is illuminated, shines and sparkles just as it is.

人類の歴史は約七百万年といわれます。それを私の背景、足元と考えますと、数えきれない人、人だけでなく数限りないのちの営みが、私の背景なのであります。そこに私個人などという物が存在するのでしょうか。それなのに個人があるという思いを煩惱というのです。塵として照らされるといことは、煩惱が捨てられない私、その私に目が覚めることでありましょう。

煩惱が捨てられない私

たちは、自ら輝くことはできません。夜空に輝く月のように、太陽のような教えの光に照らされて、塵のまま、煩惱のまま輝くことができるのです。





雰囲気の良い店内
座席は160席あります

お斎ナビでは西徳寺にご法事、またはお墓参りに来られた方が立ち寄れる飲食店をご紹介します。

今回ご紹介するのは日暮里駅から徒歩1分、「カフェ&レストラン 談話室ニュートーキョー」さんです。

創業は昭和25年(1950年)。元々パチンコ屋さんと喫茶店としてオープンし1980年に今のように食事ができるお店になったそうです。何より店内の雰囲気が良く、豪華なシャンデリアと高級感のある綺麗な椅子など、昭和レトロな雰囲気で、店内はいつも賑わっています。

トーストなどのモーニング、スパゲッティやハンバーグなどの洋食メニュー、幕の内弁当から喫茶メニュー、アルコールやおつまみまで、メニューは多彩です。日暮里駅で、法事やお参りの待ち合わせや、終わった後のお話の場としてオススメです。



ナポリタン



オムライス



幕の内弁当



チョコレートバナナパフェ

主なメニュー

●モーニング(平日 am7:00 ~ 11:00 土日祝 am8:00 ~ 11:00)

・パンメニュー ¥790 ~ ・朝食当 ¥900 ~

●グランドメニュー

・下町の!エビ入りナポリタンスパゲッティ ¥1,287 ・卵がとろ〜りオムライス ¥1,683

・幕の内弁当 ¥1,540 ・柔らかビーフシチュー ¥2,178

・目玉焼き&ハンバーグステーキ(デミグラス・和風) ¥1,573 ・キッズプレート ¥682

・ホットサンドイッチ ¥1,199

ドリンクセット+ ¥325

●甘味&デザート

・チョコレートバナナパフェ ¥1,023 ・あんみつ ¥803 ・プリンアラモード ¥1,023

●ドリンク

・アイスコーヒー ¥700 ・ロイヤルブレンドコーヒー ¥650 ・紅茶(アイス・ホット) ¥700

・クリームソーダ ¥760 ・赤梅スカッシュ ¥700 ・コカ・コーラ ¥700

●アルコール

・生ビール ¥681 ・角ハイボール ¥605 ・生絞りレモンハイ ¥660 ・グラスワイン ¥451

※その他メニュー多数あります 曜日によって日替わりランチメニューがあります

※金額は全て税込み 2025年9月15日時点での価格です

カフェ&レストラン 談話室ニュートーキョー

〒110-0013 東京都荒川区西日暮里2-19-4

ニュートーキョービル2階

☎ 03-3803-3707

営業時間 平日:7:00~21:00 土日祝:8:00~21:00

定休日 第2・第4水曜日

西徳寺前のバス停「竜泉」から
都バス08系統「日暮里駅前」
下車して目の前、くすりの福太郎
2階にあります



外観

訃報 岸本前々住職還浄

平成22年(2010年)6月から平成27年(2015年)5月まで西徳寺住職を務めて頂きました、三重県鈴鹿市、常楽寺様の岸本秀一様が8月7日、還浄(ご往生)されました。行年78歳でありました。若き時代は法務員として西徳寺を支えていただき、ご住職として5年間で尽力を賜りました。

木村住職急逝の中、平成24年西徳寺での「親鸞聖人750回大遠忌」を円成され、「西徳寺物語」編纂など、数々のご功績がございます。衷心より御礼申し上げます、お悔やみを申し上げます。

合掌
西徳寺住職 山崎 哲



岸本元住職

秋季永代経法要

9月22日(月)、秋晴れの中、秋の永代経法要をお勤めしました。

勤行後の法話は、大谷隆法務員と山崎住職からいただきました。共通のご讃題は「悪性さらにやめがたしころは蛇蝎のごとくなり修善も雑毒なるゆえに虚仮の行とぞなづけたる」。我愛という煩惱、私が一番かわいいという思いは無くなりません。念仏の道、聞法の歩みは、決して自己を肯定することではなく、自己を問い続けていく道なのだと教わりました。

(仲井 真裕 記)



山崎住職



大谷隆法務員

燈虹塾和楽器体験

夏恒例の和楽器体験教室。今回も理事である望月太左衛さんと、望月太左衛社中の皆さんによるご指導で、写真のような幅広い年齢層の皆さんがご参加されました。

最後は皆さん、それぞれの和楽器を持ってハイポーズ!夏休みのいい思い出になったかと思います。

(高橋 淳 記)



報恩講のご案内

日時：11月1日（土）

午前10時

初日中法要

法話

午前11時半

混声合唱団「エコー」演奏

正午

お斎（昼食）

午後1時半

大速夜法要

法話

午後3時半

『御伝文』拝読

11月2日（日）

午前10時

満日中法要

法話



布教使紹介

この度の布教使は、滋賀県米原市にあります佛道寺住職の竹林栄哲師ひさのりです。竹林師は本山佛光寺の宗務所職員として長らくお勤めされておられました。また布教使、式務衆や学士として、佛光寺内外問わず幅広くご活躍されています。

物腰が柔らかく、優しい口調でお話をされます。

是非、皆様お誘い合わせの上、ご来寺ください。

住職 山崎 哲

●お斎（昼食）の関係上、お参りの方は同封の返信用ハガキか、お電話にて

10月28日までにお申し込み下さい。

●恐縮ではございますが、法務執行のためご懇志のご協力をお願い申し上げます。



竹林栄哲師

仏具磨きのご案内

11月1日・2日の報恩講を迎えるにあたり、10月22日(水)午前10時～仏具磨きをいたします。一緒に仏具を磨いてくださる有志の方を募集します。きれいなお荘厳で一年の締めくくりであり、真宗門徒にとって大切な報恩講をお迎えしたいと思います。

※昼食はこちらでご用意いたします。

動きやすい格好でご来寺ください。(お寺で着替えることもできます)
ご協力いただけます方は西徳寺寺務所(03-3875-3351)までご連絡ください。



えこお志お礼

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

神奈川県 正円寺 様

愛知県 水谷 俊明 様



内愚外賢

～賢者の信を聞きて、愚禿が心を顕す～

16年前、西徳寺に入寺する話をいただきました。1月に京都の本山佛光寺で面接があると言われて行くと、顔を赤くした岸本さん(西徳寺元住職)がいらっしゃいました。どうやら新年会だったそうです。私は3月から入寺と聞いていたのに、岸本さんから「今すぐにでも東京へ行け」と言われ、驚いたのを覚えています。

それから2年後、岸本さんが住職として西徳寺に来られ、休刊していた本紙「えこお」は、岸本住職が再刊されました。文章を書き慣れていなかった当時、かなり厳しい意見をいただきましたが、今となっては鍛えてもらったんだなと思います。

今更ですが紙面を借りて感謝申し上げ、心からお悔やみ申し上げます。
(編集長 仲井 真裕 記)



お斎ナビの談話室に、お寺の4人で行きました

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com
🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook